

令和7年度防衛基盤整備協会賞応募要領

1 協会賞の目的

防衛基盤整備協会賞（以下「協会賞」という。）は、防衛装備品等に関連し、民間で自主的に行われた研究開発あるいは生産技術等の向上及び防衛装備品等の実現に参画した下請負、協力企業等が保有する代替困難な特殊技術、部品、製品等（以下「特殊技術等」という。）について、防衛装備庁の後援を頂き、特に優れた業績を挙げた技術・研究者の個人又はグループに対し、その努力を賞揚するとともに、この種の研究活動及びサプライチェーンの維持及び発展に貢献した活動を一層奨励することを目的として贈呈するものです。

2 対象となる業績の分野

- (1) 現に防衛装備品等として採用され、運用上優れているか、もしくは、優れた性能等の結果が出ているもの（〇〇装備品における△△技術、装備品の一部であって、重要な構成部分並びに関連するソフトウェアを含む。）。
- (2) 防衛装備品等の保守、整備並びに運用等に関する効率化、省力化を実現したもの。
- (3) 防衛装備品等になることを目指して開発、改善、改良等されたものであり、参考品購入として納入後、部隊での試験などで使用目的に適合するとの評価が得られたもの又は目的とする成果が得られたものであって防衛装備品等として採用されているもの。
- (4) 防衛装備品等の生産技術及び品質の向上並びに価格低減又は工期短縮を実現したもの。
- (5) 防衛装備品等の実現に参画した下請負、協力企業等が保有する特殊技術等。
- (6) ただし、国、地方公共団体、その他これらに準ずる機関から直接委託を受け又は補助を受けて実施したものは除く。

3 贈呈の内容

受賞者（個人又はグループ）に決定された方には、協会賞として次のとおり贈呈します。

なお、グループの場合は、対象者を原則として3名以内とします。

- (1) 表彰状
- (2) 副賞（賞金100万円）

4 応募期間

令和7年4月1日（火）～令和7年6月6日（金）

5 応募申込

(1) 応募申込書は、別紙様式によります。

(2) 応募申込書は、記入要領（別紙）に従い書類の添付をお願いします。

なお、応募申込書及び提出された資料等は返却しませんが協会賞の審査以外には使用しません。

(3) 第2項（5）の場合で、下請負等の個人単独またはグループでの応募、または、主契約者との連名での応募も可能です。

(4) 応募申込書は、（一社）日本防衛装備工業会、（一社）日本航空宇宙工業会及び（一社）日本造船工業会（以下「工業会」という。）を通じ、または当協会に直接送付してください。

(5) なお、応募はPDF形式のファイルによるメール送信のほか、郵送、FAXも受け付けます。

6 審査

(1) 当協会が審査委員として委嘱する部外有識者により組織する「協会賞審査会」において審査選考を行います。

(2) 審査の過程で、直接応募者に記入事項の照会等をする場合があります。

(3) 受賞者の決定は、関係工業会を通じて応募されたものは当該工業会等を経て、また、直接応募されたものは当協会から直接、いずれも応募者の所属団体（企業）に、令和7年10月初旬までに通知する予定です。

(4) 協会賞の贈呈式は、令和7年11月25日（火）の予定です。

7 当協会HP等への掲示

受賞が決定した業績については、その業績に係る研究開発等の成果等について概要を作成していただき、贈呈式及び当協会のHP等に紹介及び掲載させていただきます。

この場合、概要の原稿の著作権は、当協会に帰属するものとします。

8 直接当協会に送付する場合の送付先

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町15番9号 ラボ東京ビル8階

公益財団法人 防衛基盤整備協会 総務部 業務課

電話：(03)3358-8754 FAX：(03)3358-8752

E-mail soumu-g@bsk-z.or.jp

「防衛基盤整備協会賞応募申込書」記入要領

次に示す「記入例」を参考に記載してください。

必要に応じて別紙（様式適宜）を使用し、それぞれの項目に従って業績の詳細を記入して下さい。その場合、各事項について業績全般の内容が明らかになるように詳述し、できる限り写真その他の参考資料を添付し理解が容易になるようにお願いします。

なお、業績の詳細及び参考資料の記入にあたっては、「秘密」等に該当又は抵触しないように注意して下さい。

【記入例】

令和〇年度 防衛基盤整備協会賞応募申込書

別紙「防衛基盤整備協会賞応募における個人情報のご提供に関する同意書」に同意の上、提出します。

団体又は代表者 所属企業	団体名 (企業名)	(表彰状や贈呈式等の案内に使用しますので正確に記入してください。) 公益〇〇工業株式会社
	代表者の 役職、氏名	特機本部長 財団 太郎 (押印不要)
	代表者の 所在地	〒162-XXXX 東京都新宿区四谷本塩町...

業績題目	(独自の読み方や難読の場合は、ふりがなを付してください。) 〇〇装備への〇〇技術による〇〇改善
------	----------------------------------------------------

応募者 (個人又はグループ) (表彰状にはこの記入順で名前を記載します。)

	1	2	3
氏名 (年齢)	ほうじん じろう 法人 次郎 (58歳)	ぼうえい みつこ 防衛 三子 (50歳)	きばん しろう 基盤 四郎 (40歳)
現在の勤務部署及び役職	特機事業本部〇〇工場 〇〇部長	生産本部生産技術センター 〇〇部〇〇課長	特機事業本部 品質管理部〇〇課課員
業績に携わった際の役割、勤務部署等	H〇〇~R〇〇年の間、特機事業本部〇〇工場〇〇部〇〇課長として、〇〇を担当	H〇〇~R〇〇年の間、特機事業本部〇〇工場〇〇部〇〇課主査として、〇〇を担当	H〇〇~R〇〇年の間、特機事業本部〇〇工場〇〇部〇〇課員として、〇〇を担当

本件に関連して当協会から照会する場合の応募者の代表連絡先

勤務先： 〇〇工業(株) 特機事業本部 〇〇工場

役職： 〇〇部〇〇課長

氏名： せいび ごろう
整備 五郎

電話： 03-0000-0000

メールアドレス： goro.seibi@marumaru.co.jp

協会賞の贈呈式について当協会から連絡する場合の団体(企業)の代表連絡先

勤務先： 〇〇工業(株) 特機事業本部 〇〇部

役職： 〇〇課長

氏名： きょうかい ろくろう
協会 六郎

電話： 03-0000-0000

メールアドレス： rokuro.kyokai@marumaru.co.jp

推薦工業会	
-------	--

業績の概要	(業績の概要を下欄「応募業績及び応募理由」を参考に別添資料として記述して下さい。様式はA4版とし記載要領は自由です。)
業績の分類	(業務内容の該当する箇所を○印で囲んで下さい。複数回答可) ① 機能・性能の向上 2. 保守、整備並びに運用等に関する効率化、省力化 3. 使用目的に適合するとの評価が得られ又は目的とする成果が得られ採用 ④ 品質の向上、価格低減又は工期短縮 5. 下請負、協力企業等が保有する特殊技術等
応募業績と応募理由の概要	1 応募要領第2項で対象となる業績分野が(1)～(4)に該当する場合 (下記のうちア～ウ及びクの記入は必須) ア 自主的な技術(防衛装備品等に適用した企業固有の技術でソフトウェアを含む。)の概要 イ 自主的な技術の開発履歴と防衛装備品等への適用の時期 ウ それを適用した成果 エ 研究開発あるいは生産技術の向上の独自性 オ 研究開発あるいは生産技術の向上の手法性 カ 研究開発あるいは生産技術等の向上の成果により期待できる性能等の向上の程度 キ 生産技術等の具体的な向上の程度又は効率的な調達に寄与する内容 ク 量産契約等年月日 ケ その他特記したいこと 2 応募要領第2項で対象となる業績分野が(5)に該当する場合 (下記のうちア～エの記入は必須、主契約者と連名で応募する場合、主契約者はクの記入は必須) ア 対象となる特殊技術等が使用されている装備品の名称 イ 対象となる特殊技術等の防衛装備品等への導入状況・実績(複数件可) ウ 対象となる特殊技術等の代替困難性(独自性) エ 対象となる特殊技術等の優位性(類似品技術、製品等との比較) オ 対象となる特殊技術等を確立した時期 カ 対象となる特殊技術等の防衛装備品等以外への適用例 キ その他特記したいこと ク 対象となる特殊技術等を防衛装備品等へ適用する際、他に代替できる製品等が得られないと判断した理由(当該特殊技術等の優れた点、非代替性(輸入品を含め)、あるいは優位性等)
特許の状況	発明名称「○○・・・」 公開中 特開20XX-XXXXXX

「応募業績と応募理由の概要（記入必須項目）」の記入（例）

- 1 応募要領第2項で対象となる業績分野が（1）～（4）に該当する場合
下記のア～ウ及びクは必ず記入してください。

ア 自主的な技術（防衛装備品等に適用した企業固有の技術でソフトウェアを含む。）の概要
〈記入例〉

「弊社の〇〇技術をベースとした〇〇製品を利用し、・・・」もしくは
「弊社の独自の〇〇技術を応用（伸展）し、・・・」
何々を「開発した。」または「実現した。」等具体的な技術名とその結果を記入
してください。

イ 自主的な技術の開発履歴と防衛装備品等への適用の時期
〈記入例〉

暦年ごとの経緯の記入もしくは表形式で時期的な記入をしてください。

平成〇〇年頃 弊社の〇〇技術として確立
平成〇〇年 防衛省に〇〇装備に適用することを提案
令和〇〇年 装備の試作品（またはその一部）として完成し評価及び修正
令和〇〇年 〇式〇〇装置（またはその一部）として採用

〈表形式で記入する場合の例〉

項目 / 年	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
〇〇の自社開発研究					▶			
防衛省提案～評価試験							▶	
契約締結							○	
量産化								—

ウ それを適用した成果
〈記入例〉

「〇〇技術をベースにした研究開発により〇〇装備品の具体化、量産化にめどをつけた。特に〇〇、〇〇の実現に大きく寄与した。」
もしくは、
「〇〇の改善、〇〇の低減により高性能化と共に価格低減を実現した。」等
その成果をしてください。

（エ～キ 略）

ク 量産契約等年月日
〈記入例〉

防衛装備庁調達事業部〇〇〇調達官（付調達第〇班）
契約品名：〇式〇〇装置
契約年月日（認証年月日）：令和〇年〇月〇日 調達数量：〇〇E A

2 応募要領第2項で対象となる業績分野が（5）に該当する場合

下記のア～エは必ず記入してください。

なお、防衛装備品等を製造する主契約者と連名で応募する場合、主契約者はクを記入してください。

ア 対象となる特殊技術等が使用されている防衛装備品等の名称

〈記入例〉

〇〇式地对空誘導弾（令和〇年度契約分から採用）

イ 対象となる特殊技術等の防衛装備品等への導入状況・実績（複数件可）

〈記入例〉

〇〇式地对艦誘導弾（平成〇年度契約分から採用）

基地防空用誘導弾（令和〇年度契約分から採用）

ウ 対象となる特殊技術等の代替困難性（独自性）

〈記入例〉

装備品の要求性能を満足できるものは当該製品しか存在しない。

エ 対象となる特殊技術等の優位性（類似品技術、製品等との比較）

〈記入例〉

〇国の△社に同等品があるが、品質、価格、調達の維持（サプライチェーンの観点）からも当該製品に優位性がある。

（オ～キ 略）

ク 対象となる特殊技術等を防衛装備品等へ適用する際、他に代替できる製品等が得られないと判断した理由（当該特殊技術等の優れた点、非代替性（輸入品を含め）、あるいは優位性等）

【主契約者と連名で応募する場合、主契約者はクを必ず記入してください。別紙可】

※ 必要に応じ、別紙（様式適宜）を使用し、詳細（写真、図画、参考資料による説明）を記入してください。